

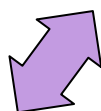
立川市体育施設のあり方検討ワークショップ 意見のまとめ

日時	令和3年 10月 4日(月)・18日(月)・25日(月)
会場	泉市民体育館
参加者	公募市民、団体推薦 計18人
ファシリテーター	和光大学 現代人間学部 人間科学科長 原田 尚幸 教授
事務局	産業文化スポーツ部 スポーツ振興課

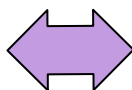
【3つの方針とワークショップ意見のまとめ】

- 多目的に利用できる施設
 - ・ 特定種目でなく多種目に利用
 - ・ スポーツ以外にも活用
 - ・ 災害時対応に活用できる
- 誰もが利用しやすい施設
 - ・ 子ども ・ 高齢者 ・ 子育て世代
 - ・ 外国人 ・ 障害者
- 利用機会の拡大
 - ・ 利便性の高い立地
 - ・ 天候に左右されない
 - ・ 利用時間の拡大、見直し
- 安全に安心して利用できる施設
 - ・ 適切な維持補修による安全確保
- 学校施設の活用
- 効果的な情報提供・PR

より多くの市民が
利用できる施設



将来ニーズを
見通した整備計画



民間活力の活用

- 時代にあったスポーツへの対応
 - ・ 新たなスポーツニーズの把握
 - ・ 市民からの企画提案
- 競技人口に応じた施設規模(整備)
- ランニングコストの抑制
 - ・ 立地の見直し
 - ・ 近隣市との広域利用
 - ・ 国有地、国施設の活用
 - ・ 受益者負担の適正化
- みるスポーツの充実
 - ・ スポーツ興行ができる施設
 - ・ トップスポーツの誘致

- 民間施設の活用
 - ・ 企業や団体の施設の活用
 - ・ 民間との共同利用
- 民間資金の活用
 - ・ 民間への施設整備コストの支援
 - ・ ネーミングライツ、広告
 - ・ 指定管理者制度の活用
 - ・ 指定管理者との連携